

上司力を鍛える 実践プログラム

～管理者・リーダーをマネジメントのプロに育てよう～

(株) FeelWorks 代表取締役／青山学院大学兼任講師 前川 孝雄

■プレイヤーの延長ではない「上司力」が必要

成績抜群のデキるプレイヤーが認められて課長に昇進……というのが、依然、日本企業の「上司」の典型かもしれない。会社は、その抜群の成績を維持してもらうためにも、プレイングマネジャーの役割を求めてしまう。ただ、今はその限界がかつてなく鮮明になりつつある。その要因には優秀なプレイヤーの延長ではチームをコントロールできない環境変化がある。まず、ビジネスにブレイクスルーが求められ、今までのやり方では打開できない。また、チーム構成が多様化し、リーダー自身とは異なる才能・資質を持ったメンバーを活かす必要もある。さらに、組織への帰属には価値を置かず一人前のスキル獲得を焦る若手の存在も齟齬感を大きくしている。デキるプレイヤーとしてやってきた仕事をそのまま指示してもチームの発展は望めず、自身が経験してきた下積みから染め上げていくような育て方も通じない。日本企業の多くの上司の皆さんにとって、プレイヤーの延長とは違う「上司力」の学習は急務といえるだろう。上司の「あり方」と「やり方」を切り分け、多層的に「上司力」の強化に注力しているベテランの人材育成プロフェッショナルに、ステップを踏んだアクションを解説いただいた。

(編集部)

CONTENTS

1. これからの管理職・リーダーには多様な人を育て活かす力が求められる
2. 部長・部門長に求められる「トップの上司力」
〈ステップ1〉大局理解
〈ステップ2〉社会使命
〈ステップ3〉組織戦略
〈ステップ4〉意思決定
〈ステップ5〉全体最適
3. 新任課長に求められるチームを作る「現場の上司力」
〈ステップ1〉相互理解
〈ステップ2〉動機形成
〈ステップ3〉協働意識
〈ステップ4〉切磋琢磨
〈ステップ5〉評価納得
4. Z世代を育てる「早期離職を予防する上司力」
〈ステップ1〉リアリティショックの緩和
〈ステップ2〉組織の論理をキャリアに翻訳
〈ステップ3〉仕事を通じた成長実感作り
5. 日本企業の強みである「人材育成」を劣化させないために

■前川 孝雄 (まえかわ たかお) :

人を育て活かす「上司力」提唱の第一人者。兵庫県明石市生まれ。大阪府立大学（現大阪公立大学）、早稲田大学ビジネススクール卒業。(株)リクルートで「リクナビ」「ケイコとマナブ」「就職ジャーナル」などの編集長を経て、2008年に(株)FeelWorks創業。「日本の上司を元気にする」をビジョンに研修事業と出版事業を営む。大企業を中心に400社以上を支援。2011年から青山学院大学兼任講師。2017年に(株)働きがい創造研究所設立。情報経営イノベーション専門職大学客員教授、(一社)企業研究会サポーター、(一社)ウーマンエンパワー協会理事なども兼職。著書は『人を活かす経営の新常識』『Z世代の早期離職は上司力で激減できる!』『部下全員が活躍する上司力5つのステップ』(共にFeelWorks)ほか、労務行政、大和出版、総合法令出版、ベストセラーズ、実業之日本社、PHP研究所等各出版社から約40冊。



(撮影/安岡嘉)

■株式会社FeelWorks :

●住所：東京都中央区新川1-16-8 EKSビル8F ●03-6206-2771 ●URL：https://www.feelworks.jp/